



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2001

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「職業奉仕・米山月間」

2010年 10月 14日 第1977回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



先週末は地区大会があり、当クラブからは地区役員を含め40名で参加しました。参加された皆様お疲れ様でした。また前田ガバナーをはじめ県北のグループ12の方々の、心

温まる設営でした。

9日の本会議において、当クラブは「意義ある業績賞」という大変名誉な賞をいただきました。これは昨年の中村会長年度での、みずとりの浜公園散歩道へのトイレの寄贈が評価されたものです。その他RI会長賞・米山記念奨学会4000万円達成クラブ・31回目の米山記念奨学会功労クラブ等、当クラブとして4つの表彰を受けました。また個人の部では諏訪さんがロータリー財団功労賞・園尾さんが40年連続100%出席者表彰等、16名の会員（別表参照）が表彰を受けました。クラブとしてまた個人として、このように多くの表彰を受けるということは、当クラブがロータリーの理念に沿って忠実に活動をしている証であると思います。

一日目の基調講演は宮城県栗駒RC若林洋一さんの「青少年はロータリーの継承者」でした。「ロータリー青少年交換留学制度」を活用して、「地域づくり」や「ロータリークラブの活性化」

に対して真剣に取り組まれている事例が参考になりました。二日目の基調講演は曾野綾子さんの「世界の中の日本」でした。昔ほどのキレはありませんでしたが、ロータリーの奉仕に関連して、「キリスト教カトリックの愛について」そして「海外諸国・他民族との付き合い方」等参考になる講演でした。私自身、立場上真面目に参加しましたが、この2日間の地区大会は誠に有意義な大会でした。

ロータリー財団 ベネファクター認証状及び襟ピンの伝達 田中 健志 会員



ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー襟ピンの伝達 児玉 裕志 会員



地区大会「意義ある業績賞」披露



地区大会、個人表彰40年以上100%出席者 園 尾 恵 三 会 員 (40年)



委員会報告

出席報告 荒谷委員

本 日 (10月14日・木曜日)

会員数 84名 出席者 67名

欠席者 14名 ご来客 0名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 68名

前々回(9月30日・木曜日)

出席率 100%



※職業奉仕委員会 前橋委員長

四つのテスト・職業宣言唱和

次回例会のフォーラムは終了時間が13時40分から13時50分になります。

※会報雑誌・広報委員会 加藤委員長

ロータリーの友誌紹介

祝 連続出席100% (7名)

大本君 (18年) 教蓮君 (16年)

森信君 (16年) 末岡君 (15年)

木村君 (11年) 土井君 (11年)

新原君 (9年)

連続出席15年 末岡 徹照 会員に記念品贈呈

地区大会

10月9日(土)~10日(日)、国際ロータリー第2710地区
2010~11年度地区大会が、三次にて開催されました。



地区大会内の表彰

クラブ表彰	意義ある業績賞	みずとりの浜公園散歩道トイレ設置
	RI会長賞	
	米山記念奨学会寄付達成クラブ	4000万円
	米山記念奨学会功労クラブ	31回

個人表彰	諏訪昭登	ロータリー財団功労賞
	園尾恵三	40年連続出席100%
	平川 實	ベネファクター
	田戸孝雄	マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
	浜井順三	ボール・ハリス・フェロー
	吉田愷忠	米山功労者（メジャードナー13回）
	井原俊彦	米山功労者（マルチプル）4回
	金本善行	米山功労者（マルチプル）4回
	日域昭三	米山功労者（マルチプル）5回
	末岡徹照	米山功労者（マルチプル）3回
	田戸孝雄	米山功労者（マルチプル）2回
	川西祐二	米山功労者（マルチプル）3回
	岡野賢太郎	米山功労者（マルチプル）3回
	新原靖	米山功労者（マルチプル）2回
	諏訪昭登	米山功労者（マルチプル）5回
	梶本政明	米山功労者

●スマイルボックス SAA 木本委員長

☺ 2710地区大会関連

9～10日、三次市で開催された2710地区年次大会には会員が多数参加され、ご苦労さんでした。大会では先ほど田中会長からご報告があったように、わがクラブ、及び会員が数多くの表彰を受けました。お目出とうございます。なかでも「意義ある業績賞」は地区で唯一の受賞であり、会員全員出宝で祝いたいと思います。

●第4回理事会議事録

と き 2010年10月7日(木)13時40分から15時15分
ところ ANAクラウンプラザホテル広島4F「松の間」

報告事項

- ①合同事務局運営委員会報告（9月8日）
（金本幹事）運営委員会と合同幹事会の合同開催を検討する。
- ②9月収入支出状況について
（米山会計委員長）資料に基づき報告
- ③親睦活動委員会 7月29日夜間例会並びに会員懇親会
- ④親睦活動委員会 8月21日家族会（プロ野球観戦）
- ⑤会員増強委員会 8月26日会員組織部門強調プログラム
- ⑥新世代IA委員会 9月9日社会奉仕部門強調プログラム
- ⑦地域環境委員会 9月15日寄贈トイレ清掃事業
今後、清掃活動の継続が課題との報告があった。

⑧地域環境委員会 9月16日環境後援卓話

⑨地域環境委員会 9月22日子供見守り一日体験事業

緑ジャンパーが不足しているのを、毎年、寄贈できるかが課題との報告があった。

⑩米山奨学委員会 9月30日米山奨学会募金箱回覧

募金箱を回覧する回数について委員会で検討する。

⑪事務局パソコンの更新について

緊急を要したため、田中会長判断で更新決定の旨、報告があり、了承された。

審議事項

- ①前回議事録の承認（全員一致承認）
- ②次年度理事役員選挙要領に基づく指名委員の承認について（全員一致承認）
藤田会員、長谷川会員、日域会員、園尾会員の4名に加え、直前会長、現会長、会長エレクトを加えた7名を指名委員とする。
- ③米山奨学委員会強調プログラム及び米山募金箱の設置について
10月の例会時に、少額の募金をつのることを了承された。
- ④10月21日職業奉仕委員会クラブフォーラムについて（全員一致承認）
- ⑤11月4日ロータリー財団強調プログラムについて（全員一致承認）
- ⑥11月卓話スケジュールについて（全員一致で承認）
- ⑦米山奨学生 張化さんの米山奨学金延長申請について（全員一致で承認）
- ⑧国際基督教大学への献金について
合同幹事会にて、他クラブの動向を調査の上、再度審議する。

協議事項

- ①クラブ・ビルダー賞の推薦について
竹本盛男会員を推薦することに決定した。

次回開催日 平成22年11月4日(木)例会終了後



囲碁の魅力

日本棋院 棋士
山本 賢太郎 氏

●プロフィール

昭和55年11月15日生

鳥取県出身

後藤俊午九段門下

平成9年入段、11年二段、12年三段、14年四段、
21年五段

日本棋院関西総本部所属

2つの組織

日本の囲碁団体（プロ組織）は主に2つあり日本棋院、関西棋院とに分かれています。

日本棋院に関しては東京本院、中部本部、関西総本部と3都市に拠点を置き普及活動を行っています。関西棋院は大阪を拠点に主に近畿地方を中心に普及活動を行っています。

プロ組織としては変わらず日本棋院、関西棋院共に財団法人ですが経営面では2つのプロ組織は別のものになります。

プロ棋士までの道のり（院生制度）

プロを目指す場合には原則棋院の院生になる必要があります。

年齢制限は院生は17歳未満までに入段（プロ）にしなければ卒業させられてしまいます。

17歳未満の時点でプロへの道が閉ざされてしまう訳ではありませんが卒業となった場合次に外来という制度があります。

この外来制度は外来予選を突破しさらに院生との統合予選を経て本試験に進むという形になり年齢制限も23歳未満までとなりここで試験に通らなければ完全にプロへの道が閉ざされてしまいます。現在の日本棋院の制度では東京枠が3名、名古屋・大阪枠が各1名女流枠が1名で年に5～6名がプロ初段としてデビューする仕組みになっています。この院生試験では実力だけでなく試験期間の体調管理、プレッシャー等の克服も重要視されます。タイトル獲得者のインタビューでも囲碁人生でどの場面が一番嬉しかったのか？の問いに『入段試験

を通過できたとき』とコメントが返ってくるほど過酷な試験です。

プロ棋戦の仕組み（スポンサー）

プロ棋戦（トーナメント）のスポンサーの全般は新聞社で囲碁棋戦では主に七代タイトルがメインです。

棋聖戦（読売新聞）4500万円 名人戦（朝日新聞）3700万円 本因坊戦（毎日新聞）3200万円 十段戦（産経新聞）1500万円 天元戦（三社連合）1400万円 王座戦（日本経済）1400万円 碁聖戦（新聞囲碁連合）777万円 （賞金序列順）

ここまでが七大棋戦といわれる棋戦・スポンサー・賞金です。

これに富士通杯・NEC杯・NHK杯・新人王戦等の棋戦は前年の獲得賞等々年齢制限が参加条件に加えられます。

10月30・31日に中国新聞で行われる広島アルミ杯若鯉戦（広島アルミニウム工業）は今年5回目です。

参加資格は初段から五段までで年齢は30歳未満でこれに該当する棋士が各棋院で予選を行い代表となり広島での決勝トーナメントに進行という仕組みです。

全国での地方開催は初でファンの方にはプロの対局風景を真近で見られるまたとない棋戦です。昨年からアルミ杯をモデルとする棋戦が名古屋で誕生するなど囲碁界にとって大きな役割を担う棋戦です。

若手棋士にとって全棋士対象の棋戦での優勝はなかなか難しく若鯉戦の優勝賞金200万という賞金はこれとないチャンスという事もあり大変な話題になりました。

広島アルミ杯に観戦に来られた方の声には対局をテレビで見るのとその場で見るのとでは緊迫感が違うという意見もありました。

是非この機会に対局上の緊迫感を味わって頂けたらと思います。

● 卓話予告

日時	テ	マ
10/28(木)	職場訪問例会	広島電鉄
11/ 4(木)	ロータリー財団強調プログラム	